

ひょうたけいけ

桜台小 学校だより
令和5年1月16日
第52号



先日、奈良県御所市にある水平社博物館を訪問しました。博物館の前は小川が流れていて、その橋には「水平橋」という橋が架かっていました。約100年前に、差別をなくそうとした先人たちは、海の水平線をイメージし、この地に「水平社」を設立しました。3学期の始業式では「人（ひと）にやさしくしてほしい」と、子どもたちに話しました。常に自分自身の言動を点検・確認しながら、日々の学校生活を送ってほしいと思います。
※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



新年の思いを乗せて書き初めをしました。

全学年が、1月10日（火）と12日（水）の2日間で新年試筆（書き初め）を行いました。冬休みの期間中に家庭で取り組んだ課題に挑戦しました。1年生は「歩け歩け」という詩を、2年生は「お手紙」という文を硬筆で書きました。3年生は「正月」、4年生は「平和」、5年生は「出発」、6年生は「希望」という字を毛筆で書きました。どの子も気持ちを落ち着けて、集中して鉛筆や筆を動かしていました。先生たちも書き初めをして、児童玄関のよく見えるところに掲示しました。私は、子どもたちへの願いを込めて「平和」「笑顔」「温もり」と書き、職員玄関前に掲示しました。



子どもたちの作品は「校内書写展」として1月19日（木）から1月31日（火）まで各教室前廊下に掲示しています。1月30日（月）の授業公開時には子どもたちの力作を、ぜひご覧ください。

登校指導、お世話になりました。

1月11日（水）に朝の登校指導がありました。「PTA地区委員」の皆さんから、子どもたちの様子や気が付いたことなどをあげてもらいました。紙面を借りていくつかを紹介します。

- こちらからあいさつをしたら、みんながあいさつをしてくれました。バラバラにならずに、きれいに並んでいました。もうすぐ1年経ちますが、子どもたちの成長を感じました。
- 班長さんが「手をあげて」と、みんなに声をかけていたのがよかったです。
- 寒い中元気に登校していました。横断する時は、ほとんどの児童が手をあげ、左右確認をして渡っていました。
- 以前と比べ、大きな声であいさつができる児童が増えてきているように感じました。見守りボランティアの方々も、元気なあいさつが返ってくると、嬉しそうでした。
- 見守りボランティアの方々にもあいさつをし、手をあげて安全に登校できていました。
- 新学期、子どもたちは荷物を一度に持っていきようとしています。荷物が多い中でも「横断歩道は手をあげて渡るんだよー」と声をかけると、素直にあげてくれていました。両手にたくさん荷物を持って歩いていると、転んだり、何かあったりした時に少し危ないのかなあと感じました。
- 登校班への欠席連絡がなかったり、連絡方法が違ったりしていますので、一考してほしいと思います。集合時刻よりも早い子や遅い子がいて、寒い中待っているので集合時刻に間に合うようにしてほしいと思いました。

寒い時期の体育科授業における服装について

体温調節や安全面（けがの処置）の観点から、半袖体操服の下に長袖のTシャツやフリース等を着たり、ショートパンツやハーフパンツの下にタイツ・スパッツ等をはいたりすることは避けてください。体操服の上に長袖の服や長ズボンを着用することは可としますが、準備運動を終えた後、学習内容に応じて、担任の指示で脱ぐようにします。何か特別な事情がある場合には、担任にご相談ください。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

（文責 北住 昌文）